

# 独立行政法人水産総合研究センター

## 東北区水産研究所混合域海洋環境部（海洋環境分野）

### 1. モニタリングの目的

- ・ 漁海況予報、資源変動要因解明のための海洋環境データの蓄積
- ・ 生態系変動、漁海況特異現象の監視
- ・ 地球温暖化影響評価のための基盤データ収集

### 2. モニタリングの歴史

- ・ 1949年開所以来、モニタリングを基盤とした海と魚の研究蓄積
- ・ 1964年から漁海況予報事業の一環で関係機関のコーディネーター
- ・ 1995年から水研独自の低次生態系モニタリングの継続

### 3. 現在のモニタリングの実施状況

- ・ 混合域に流入する親潮を横断するAライン観測を実施
- ・ 北水研と共同運航して、年4回のコア観測と追加観測を実施
- ・ 東北ブロック各県水産機関と連携して定期海況予報の実施

### 4. 現在のモニタリング必要性と今後の実施計画

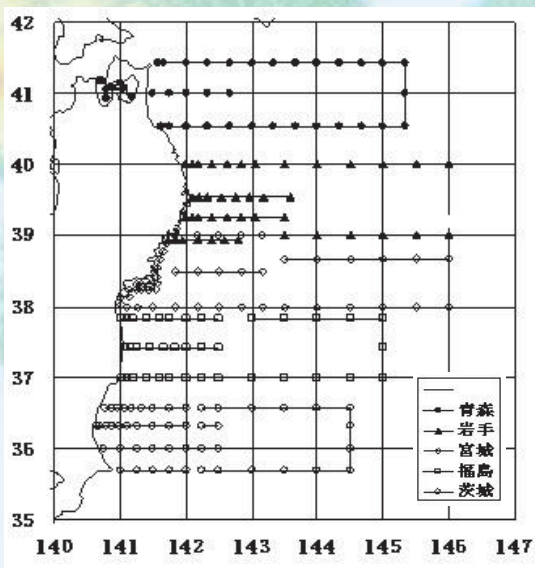
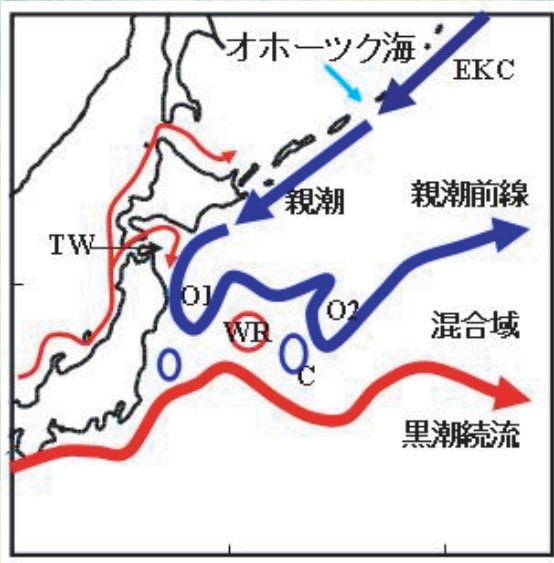
- ・ 温暖化の影響評価や水産資源の変動プロセスの解明に不可欠
- ・ 農林水産技術会議温暖化プロ研でAライン観測を継続実施予定
- ・ 東北ブロック各県水産機関と連携して定期的海況予報の実施
- ・ 海洋大循環モデルと海洋観測を組み合わせた客観的海況予測
- ・ 効率的な定線配置とリアルタイムデータ流通堆積の検討
- ・ 実行予算、人員、体制を考慮した継続できるモニタリングシステムの検討
- ・ 後世に利用できるデータ蓄積のための観測精度・手法・手順吟味

### 5. 日常的に発信している情報等

- ・ 毎月の東北海区の海況図と2ヶ月毎の3ヶ月先までの海況予報
- ・ 東北海区の水塊配置の指標データの時系列公開
- ・ Aライン低次生態系観測データのHPによる公開

# 東北ブロックのモニタリングを支える

## 漁業調査船と観測定線



### 1. 青森県水産総合研究センター



### 2. 岩手県水産技術センター



### 3. 宮城県水産研究開発センター



### 4. 福島県水産試験場



### 5. 茨城県水産試験場



### 6. 東北区水産研究所

